

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	村民みんなで考える！下條村知名度アップ・移住定住強化事業
事業主体 (連絡先)	下條村 0260-27-2311
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	884,921 円

事業内容

下條村を知っていただき移住候補地の一つとしていただくためにも、地域おこし協力隊や、下條村へ移住された方、村内の各団体（からみん応援隊・村議会・観光協会・道の駅関係・コスモスキューピット等）、首都圏下條会と意識の共有をし一丸となって事業を行い、交流会等開催することで移住者の地域への溶け込みのきっかけとしたり、共通意識で下條村PRを行うことで知名度の向上を図り交流人口・関係人口の増加を目指し、移住へつなげた取り組みを行っていく。



【移住者交流会ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

事業効果

①交流会を行ったことで、村内で居住している方と移住者との交流のきっかけができ、農業団体への加入者や、自宅古民家を交流の拠点としたワークショップやイベントの開催など村内での積極的な交流のきっかけとなった。また、移住者交流会についても定期的に開催を希望する声も多く、新年度より実施検討していく方向となる。

②首都圏下條会総会へ参加していた下條村出身の峰竜太さんにも依頼をし、引き続きPRを実施している。

下條コーホーマンには啓発物品・移住者交流事業で作成したチラシ等を配布し、活用してもらうことで、コーホーマンの職場の同僚や友人・身内等に魅力をPRしてもらった。

SNSやブログ等を活用した発信・ネットワークづくりに取り組んでおり、下條村の情報の発信を行っている。

このような活動をきっかけに、下條村出身で首都圏でカフェを経営している方との接点もでき、そのカフェでのイベント開催の検討も始まった。

③お試し住宅の利用者は10組（H29）→12組32名（H30）、移住者2組（H29）→4組（H31）。

また、具体的な移住相談実績が【H29】10件に対し【H30】は17件と増加した。

- ①実際に移住されてきた方の交流の場として移住者交流会の開催をし、村や地域コミュニティへの溶け込みの足掛かりを作るきっかけを作り出す。
- ②コーホーマンの任命をし、首都圏居住の出身者との連携を深め、首都圏からの発信も強化する
- ③お試し住宅の利用者を10組（H29）→20組、移住者を2組（H29）→4組を目標とする。

※自己評価【 B 】

【理由】

初めての試みとしての移住者交流会だったが、参加者や住民から「今後も広がりを持たせて開催してほしい」との要望もあり、定期的な開催を計画していく。お試し住宅の利用に関しては利用12組、移住数4世帯、相談件数も17件となった。

今後の取り組み

今年度実施をし反響の大きかった移住者交流会を形を変え、村づくり交流会等とし、引き続き移住されてきた方も含めて実施を検討していく方向性が出た。

コーホーマン任命に関しても引き続き首都圏下條会と連携し情報発信をしていく。

上記にもある東京でカフェを経営している方との連携も深めていき、移住やUターン・孫ターン、下條村のPRのイベントを共同で開催できるよう検討を進めていく。

お試し住宅も問合せ自体は増加してきているので、受け入れ対応等含め、さらに充実した下條村の生活体験をしていただき、検討していただけるようにしていきたい。